将軍山古墳展示館石室展示

埼玉古墳群の埴輪

武人

朝顔形円筒

家形

水鳥形

円筒

盾持ち人

琴を弾く男子

MUSEUM OF THE SAKITAMA ANCIENT BURIAL MOUNDS

入館のご案内

将軍山古墳展示館

観覧料

	個人	団体(20名様以上)
小・中学生	無料	無料
高校生・学生	100円	1人60円
一　般	200円	1人120円

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方(付添1名含む)は無料です。

年間観覧料

埼玉県立嵐山史跡の博物館もご観覧いただけます。

一　般	1,200円
高校生・学生	600円

開館時間

9:00～16:30(入館は16:00まで)
※7月1日～8月31日は、
9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日

・月曜日
(国民の祝日、振替休日、県民の日(11月14日)
4月29日～5月5日は開館します。)
・12月29日～1月3日
※その他臨時開館日等については、当館ホームページをご参照ください。

交通案内

電車・バス

■JR高崎線吹上駅下車
朝日バス佐間経由「行田折返し場・総合教育センター・工業団地」行「産業道路」下車徒歩約15分　1時間に3～4便

■JR高崎線行田駅下車
市内循環バス(観光拠点循環コース)「JR行田駅前」から「埼玉古墳公園前」下車徒歩約2分　1時間に1便程度

■秩父鉄道行田市駅下車
徒歩約30分

自動車

■東北自動車道
「加須インター」から約17km
「羽生インター」から約15km

■関越自動車道
「東松山インター」から約18km
「花園インター」から約25km

■圏央道
「桶川加納インター」から約17km

埼玉県立さきたま史跡の博物館

〒361-0025　埼玉県行田市大字埼玉4834
TEL 048-559-1111(代表) 048-559-1181(学芸)　FAX 048-559-1112
ホームページ　https://www.sakitama-muse.spec.ed.jp/

埼玉県立

さきたま史跡の博物館

見学のしおり

MUSEUM OF THE SAKITAMA ANCIENT BURIAL MOUNDS

国宝

金錯銘鉄剣

鉄剣に刻まれた115文字は「(わたくし)ヲワケの先祖は、代々杖刀人首(親衛隊長)を務めてきた。

わたくしはワカタケル大王(雄略天皇)に仕え、天下を治めるのを補佐した。

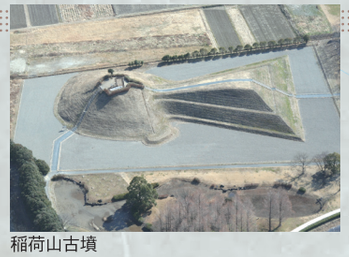
そこで辛亥の年(471)7月に、このすばらしい刀剣にこれまでの輝かしい功績を刻んで記念とする」と記されています。この銘文は、我が国古代国家の成立を読み解く、貴重な手がかりとなります。

裏　表

〔表銘文〕辛亥年七月中記乎獲居臣上祖名意富比垝其児多加利足尼其児名弖已加利獲居其児多加披次獲居其児名多沙鬼獲居其児名半互比

〔裏銘文〕其児名加差披余其児名乎獲居臣世々為杖刀人首奉事来至今獲加多支鹵大王寺在斯鬼宮時吾左治天下令作此百練利刀記吾奉事根原也

辛亥の年七月中、記す。ヲワケの臣(ヲワケコと読む説もあります。)。上祖、名はオホヒコ。其の児、(名は)タカリのスクネ。其の児、名はテヨカリワケ。其の児、名はタカヒ(ハ)シワケ。其の児、名はカサヒ(ハ)ヨ。其の児、名はヲワケの臣。世々、杖刀人の首と為り、奉事し来り今に至る。ワカタケ(キ)ル(日)の大王の寺、シキの宮に在る時、吾、天下を左治し、此の百練の利刀を作らしめ、吾が奉事の根源を記すなり。



稲荷山古墳

二子山古墳

◆古墳の規模

単位：m

古墳名	墳丘長	後円部径	高さ	前方部幅	高さ
丸墓山	105.0	—	17.2	—	—
稲荷山	120.0	62.6	10.4	82.4	(9.4)
二子山	132.2	67.0	11.7	83.2	13.7
鉄砲山	107.6	49.7	8.5	68.1	9.5
将軍山	90.0	38.8	(18.0)	63.6	8.0
中の山	(79)	(38)	4.9	(44)	5.2
瓦　塚	73.4	36.2	4.8	45.0	4.6
奥の山	66.4	38.4	5.6	43.2	6.0
愛宕山	54.7	(26.4)	3.6	31.4	3.7

(　)は推定　※墳丘の高さは古墳時代当時の地表面から計測

将軍山古墳

丸墓山古墳

国指定特別史跡

埼玉古墳群

「埼玉古墳群」は県名発祥の地、行田市大字埼玉にあり、5世紀後半から7世紀はじめころまでに造られた9基の大型古墳が群集しています。

この時期の古墳群としては、我が国有数の古墳群であり、昭和13年に国の史跡に指定され、令和2年には、特別史跡に指定されました。現在埼玉県によって、保存整備が進められています。

稲荷山古墳は、昭和43年(1968)に発掘調査され、金錯銘鉄剣・帯金具・まが玉・鏡をはじめ多くの遺物が出土しました。これらは、昭和58年(1983)に一括して国宝に指定され、当館で展示されています。

墳頂には国宝が出土した河原石でつくった埋葬施設のようすが表示してあります。古墳が造られた時期は5世紀後半と考えられます。

二子山古墳は、武蔵国(現在の埼玉県・東京都・神奈川県の一部)で、最も大きな前方後円墳です。造られた時期は6世紀前半と考えられます。

丸墓山古墳は、日本最大級の円墳です。出土した埴輪から6世紀前半に造られたと考えられます。

この古墳から駐車場へ続く道は、戦国時代に忍城を水攻めする時に築いた堤(石田堤)の跡といわれています。

将軍山古墳は、明治27年(1894)に地元の人々により発掘され、横穴式石室から馬冑や旗さし金具をはじめ、銅鏡、環頭大刀、馬具など、多くの副葬品が出土しました。墳丘と堀を復原し、実物の横穴式石室を建物の中から見学できる我が国初の施設、将軍山古墳展示館を設置しています。墳丘には復原した埴輪(模造品)を立てています。古墳が造られた時期は6世紀中頃と考えられます。